

2013年3月度 理事会報告

第12回運営会議報告

3月度理事会 議事

第1号議案 新会員の承認を求める件

平成25年2月理事会以降、平成25年3月26日までの間に法人会員1社、個人正会員7名、個人正（シニア）会員1名の入会が申請通り承認されました。今回法人会員になられたNTTエレクトロニクスは昨年の60周年記念表彰にて「残響制御技術Revtrinaの開発と実用化」で協会大賞を受賞しております。

第2号議案 平成25年度事業計画案と収支予算案の承認を求める件

校條会長から説明された平成25年度の各活動キーポイントは下記の通りです。

- ・ DHT普及：ライセンス増員の為のDHT講座の地方開催と実践支援の開始
- ・ 展示会：来年度以降へ向けた、新しい展示会の在り方の検討
- ・ 生録普及：青少年音楽活動へのアプローチ等、更なる市場深掘と市場構築への取り組み
- ・ 技術系活動：より良い再生環境の整備に加え、次世代TVを含むTV音声再生環境への提言
- ・ 音のサロン：試聴会の定例化と地方開催の検討
- ・ 音の日：来年20周年へ向け、原点にかえり、あり方の再検討
- ・ 市場データ集計/技術と歴史商品の情報収集：各会員企業の協力の必要性

次に事務局からH24年度見込み、及び、H25年度予算案が説明されました。

平成24年度の収支見込については、一般会計、展示会(音展)、DHT認定講座共に黒字化が達成され

ることが報告されました。

平成25年度予算は、固定費の大幅削減による一般会計の収支均衡の実現、展示会収支の均衡化、DHT講座の黒字拡大をそれぞれ目指し、予算化されていることが説明されました。

以上の説明を踏まえ、平成25年度事業計画案と収支予算案はともに承認された。

第12回運営会議 議事

(1) Network Audio 技術検討部会の立ち上げ

放送・通信・新音源委員会の課題の一つであったデジタル(File)音源の再生系技術に関して、JEITAとの協業の形で検討部会を立ち上げることが説明され、確認された。

主な活動内容はNetwork Audio関係のページをJASホームページ内に新設すると共に、オーディオ協会としてGuide Bookの整備、セミナー、試聴会等の普及啓発活動を行っていく。

構成メンバーは、機器メーカーと配信事業者からなり、近々に各会員企業にメンバー選出依頼が出される予定です。

(2) 展示会について

校條会長より「展示会等基本企画委員会」での検討結果が説明され、今秋開催することが確認されたが、出展社の精度を上げ、収支見込みを再確認し、情報を共有した上で、最終的に次回理事会で最終決定することになりました。